

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 FamiliMemberHistory リソース 家族歴情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“FamiliMemberHistory”	FamiliMemberHistory リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものを入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		この情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	この情報 ID の文字列。値は例示。
3	status				1..1	code	"partial"	<p>臨床的状态のステータス。</p> <p>コード表: "http://hl7.org/fhir/history-status"</p> <p>partial completed entered-in-error health-unknown</p> <p>一部情報が取得された、利用可能な家族健康情報はすべて取得された、このリソース情報はエラーになる、この家族の健康状態は不明。</p>
4	dataAbsentReason				0..1	CodeableConcept	"http://terminology.hl7.org/CodeSystem/history-absent-reason" "unable-to-obtain"	<p>この家族の情報がとれない理由コード。</p> <p>subject-unknown: Subject Unknown 患者がこの家族を知らない。例えば、養子縁組された患者が生物学的親の情報を知らないなど。</p> <p>withheld: Information Withheld 患者は情報の共有を差し控えるか、または拒否した。</p> <p>unable-to-obtain: Unable To Obtain 情報を取得できない。例: 意識不明の患者。</p>

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								deferred:Deferred 患者は現在情報を持っていませんが、後日情報を提供することがでる。
4.2	patient				1..1	Reference(Patient)	“urn:”	対象となる患者リソースへの参照。
	date				0..1	dateTime		家族歴情報が取得された、または更新された日時。
	name				0..1	string		この家族の名前。通称や患者からの呼び名でもよい(“スーザンおばさん”など)。
	relationship				1..1	CodeableConcept	“http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-RoleCode”	患者に対するこの家族の関係。 例:DAU:娘
	sex				0..1	CodeableConcept	“http://hl7.org/fhir/administrative-gender” “female”	家族の性別。 male female other unknown
	(born)				0..1	(Period date string)		家族の(おおよその)誕生日。 次の3つの要素のいずれかで記述する。born 要素は記述しない。
		bornPeriod				Period		期間で表現したい場合。
		bornDate				date		日付で表現したい場合。
		bornString				string		文字列で記述したい場合。
	(age)				0..1			家族の(おおよその)年齢。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								次の 3 つの要素のいずれかで記述する。age 要素は記述しない。
		ageAge			0..1	Age		年齢で記述したい場合。
		ageRange			0..1	Range		数値の範囲で記述したい場合。
		ageString			0..1	string	“40 歳前後”	文字列で記述したい場合。
	estimatedAge				0..1	boolean	true	上記年齢は (計算やアルゴリズムによる) 推定値によるものであれば true、それ以外は false。
	(deceased)				0..1			家族が死亡している場合に、その真偽、年齢、時期などのいずれかひとつの要素で記述する。 deceased 要素は記述しない。
		deceasedBoolean			0..1	boolean		真偽値。
		deceasedAge			0..1	Age		死亡年齢。
		deceasedRange			0..1	Range		死亡時期の範囲。
		deceasedDate			0..1	date		死亡日付。
		deceasedString			0..1	string	“患者が 60 歳の頃。”	死亡時期についての文字列記述。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	note				0..*			この家族に関する一般的な情報のテキスト記述
		author						記載者の情報
			authorString		0..1	string	“患者自身”	記載者氏名などの文字列。必ずしも氏名でなくてもよい。
		time			0..1	dateTime		この追加的な情報が作成された日時。
		text			1..1	markdown		追加的な情報の内容。markdown形式のテキストが使用できる。データとして 1M バイト以内であること。
	condition				0..* –	BackboneElement		家族が持っていた重要な状態(または状態)。複数記述できる。
		code				CodeableConcept	“urn:oid:1.2.392.20011 9.4.101.6” “E48A” “胃癌”	患者状態、プロブレム、診断のコード記述。 system 値は MEDIS 標準病名マスター病名交換用コードを使用する場合の例示。”E48A”は、MEDIS 標準病名マスター病名交換用コードで“胃癌”のコード。
		outcome				CodeableConcept	“術後生存、化学療法中”	この状態の結果(転帰)。 Coding 記述はせず、text にのみ記述する。
		contributedToDeath				boolean		死亡している場合に、この状態(疾患など)が原因もしくは寄与してい

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								る場合に true。この要素を記述しない場合、不明とみなす。
		(onset)						この状態(疾患など)が最初に出現した時期。 次の 4 つの要素のいずれかひとつで記述する。onset 要素は記述しない。
			onsetAge			Age		年齢で記述。
			onsetRange			Range		年齢の範囲で記述。
			onsetPeriod			Period		時期の期間もしくは時期で記述。
			onsetString			string		文字列で時期を記述。
		note			0..*			この状態に関する追加的な情報。
			author					
				authorString	0..1	string	“患者”	記載者氏名などの文字列。必ずしも氏名でなくてもよい。
			time		0..1	dateTime		この追加的な情報が作成された日時。
			text		1..1	markdown		追加的な情報の内容。markdown 形式のテキストが使用できる。データとして 1M バイト以内であること。

